

中執ニュースレター No.1

2006年2月10日発行

東京農工大学職員組合 中央執行委員会

2006年 新中央執行委員会活動スタート

就任のご挨拶 「改革」より「是正」を 中執委員長 辻村秀信

委員長に就任後、ただちに大変な問題に直面しています。農工大当局が、「給与構造改革」と称して、職員給与の大幅引き下げを今年4月から実施したいと提案してきました。当局の計算で、本学職員500名の平均で1人あたり月額約2万円の引き下げです。理由が本学に経営危機が迫っているからというのではないのでまずは安心ですが、昨年、人事院の出した国家公務員「給与構造改革」の勧告に従うためだということも、けしからんことです。

私たち組合は、「改革」の本学への機械的適用に反対し、本学の職員給与構造の歪みこそ是正すべきだとして、当局交渉をすすめます。本学の職員給与構造の歪みはひどいものです。40歳以上の事務職員・技術職員の給与が国家公務員の平均に比べて年収で約100万円、生涯賃金では給与分だけで約2千万円も低いのです。

本学に必要なのは「改革」ではなく、歪みの「是正」です。討議資料を準備しました。みなさんの意見を執行部に集中して下さい。組合の力の源泉は皆さんの団結と結集です。

職場集会に参加しよう！！

2月中旬に各職場にて、給与構造改革に関する職場集会を開催します。4月1日から新俸給表へ移行しますが、それに伴う俸給月額的大幅な切り下げは結果として私達の年収および生涯賃金に大きく影響します。職場で活発な討議を行い、私達の要求を当局にぶつけていきましょう。

退職者歓送会のお知らせ

3月16日(木)18:00より 生協2階オリザ 会費1,500円

退職される組合員 武川征弘さん、富永洋司さん、丸山直樹さん、小澤美生さん

新執行委員紹介

新執行委員は次の方々です。

都大教常任幹事の内本聡氏（生物生産学科）にも執行委員会をサポートしていただいています。

役員名	氏名	所属
執行委員長	辻村秀信	応用生物科学科
副執行委員長（小金井支部委員長）	清水本裕	情報コミュニケーション工学科
書記長	大川泰一郎	生物生産学科
執行委員（府中支部委員長）	牛木秀治	環境資源科学科
執行委員（府中支部書記長）	田中知己	獣医学科
執行委員（小金井支部書記長）	平野正雄	応用分子化学科
執行委員（中執会計）	吉川正人	地域生態システム学科
執行委員	里深文彦	地域生態システム学科

第1回中執委員会の報告

1月12日に第1回中央執行委員会を開催しました。旧中央執行委員会からの引き継ぎ事項を確認し、2006年運動方針・予算を確認しました。今年度の活動計画、役割分担を検討し、当面の大きな課題である給与構造見直しの取り組み体制について協議しました。つぎの第2回中央執行委員会までに、給与対策ワーキング委員会で団体交渉要求案を作成することに決まりました。

第2回中執委員会の報告

1月26日に第2回中央執行委員会を開催しました。当局の給与構造見直し案に対して、給与対策WGで作成した団体交渉要求案について協議し、これを基に職場集会での討議資料を作成することを確認しました。団体交渉までのスケジュールを協議し、2月1日に職場会の討議資料を完成し、2月6～17日までの間に職場集会を開催し、2月下旬に団体交渉要求書を作成すること、3月上旬から中旬に団体交渉を行い、3月中旬に臨時中央大会を開催し、3月下旬に学長交渉を行うことを確認しました。今年の退職者歓送会は3月16日（木）に生協オリザで開催することに決まりました。

今年の書記さんの勤務時間

1月から新たに契約更新を行いました。勤務時間は次の通りですので、気軽に事務室にお立ち寄り下さい。

平塚信子さん

小金井事務室 月・火・木・金
勤務時間 10時～15時

江原洋子さん

府中事務室 月・火・水・木
勤務時間 12時～16時

旧執行委員の皆さん、ご苦労様でした

2005年を闘われた執行委員の皆様、本当にご苦労さまでした。

退任のあいさつ

前年度中執書記長 東城清秀

組合役員の交代にあたり、一言ご挨拶申し上げます。2005年度は活動を組合員の拡大に絞ってやってきました。まず、組合費の値下げ案を臨時大会で認めていただき、パンフレットや立看を作って組合加入を呼びかけました。結果として十数名に及ぶ新規加入者を得たことは執行委員の皆さんが熱心に勧誘してくれた成果だと思います。

何といたっても年末になって出てきた給与交渉が最大の難所となりました。今まで給与は人事院勧告にしたがって自動的に決まっていたわけですが、2005年から法人ごとに交渉によって決められることになったからです。結果的には、勧告に示された値下げをくい止めることはできなかったのですが、わずかばかり改善できたと考えています。この交渉を通じて感じたことは、経営側から財務的な展望やこれからの戦略が全く示されなかったことです。従来 of 国立大学の延長で、当面予想されている財政危機をどのように乗り越えるかだけに説明が終始したことは残念でした。経営側が考えないならば、組合が賃金水準も含めて戦略や具体的な数字を示していく必要があります。

最後に、様々な場面でご支援いただいた組合員の皆様、組合役員の皆様、書記のお二人に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

新執行委員のあいさつ

中執委員長 辻村秀信

このところ、社会の変化がめまぐるしく、これについて行くので精一杯でした。「競争」、「成果主義」、「勝ち組か負け組か」などという言葉に追い立てられる時代が続いていますが、本当にこれが社会の発展なのかと一抹の疑問を持たざるを得ません。真に未来に引き継がれるものがこの社会のどこにあるのか、組合の委員長をお引き受けしたこのチャンスに考えたいと思います。素人役員です。皆様のご協力をお願いします。

中執副委員長、小金井支部委員長 清水本裕

組合加入歴5、6年の私が初めて委員となるのに、いきなり大役を仰せつかり、とまどいを覚えておりますが、かつて一般教育部を共にした同世代の委員長をはじめとする委員の皆さまと、力を合わせてやっていきたいと思っております。

中執書記長 大川泰一郎

1度目はまだ20歳後半で中執委員では組合新聞を担当し、メールもない時代で原稿のワープロ打ちと切り貼りをし、苦勞して作成したのを覚えています。官舎B、C棟が建つ前で、住宅問題の特集にとりあげて活動していました。今回は、給与構造見直しによる4月からの職員給与の改正など大きな山があり、1月スタート時から登山を開始し、途中で休む間もなく頂上をめざしているような感じです。12月までベースキャンプの組合員の皆様とよく連絡をとりながら、強力な辻村委員長とともに初登頂をめざしがんばりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

中執委員、府中支部委員長 牛木秀治

独立行政法人が始まった昨年度から、人間自然科学部 教養部廃止 BASE創設 大学院部局化 独立行政法人化への流れに関わらされた約15年間の「お勤」が終わり、さあ、「研究」だと意気込んでいました。そういう言えば、丁度、旧教養部で人間自然科学部創設へ盛り上がる直前に、中央執行委員長をしました。確か、その時に、「十年に1度は執行委員がまわってくる」という事を述べていたと思っております。その通りになりました。今は、15年前と大学の状況は、大きく異なっています。働く立場から、何が問題なのか、学びながら、現実化したいと思っています。

中執委員、府中支部書記長 田中知己

この度職員組合中央執行委員（兼府中支部書記長）を務めることになりました。本年は早速給与構造の見直し等重要課題が多々ありますが、大きなことから小さなことまで組合員の皆様の職場環境が少しでも向上するよう努力する所存です。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

中執委員、小金井支部書記長 平野正雄

今回で3回目の支部書記長を務めることになりました。独立法人化直前の2回目の時に“最後のご奉公”と宣言したのですが、それも叶いませんでした。中央執行部に貢献できるほどの力量は露ほどもありませんので、小金井支部内を纏め、中央との連絡役・調整役に徹したいと考えております。皆様の御協力ならびに御指導を御願い致します。

中執委員 里深文彦

少子化対策と高齢者問題は、21世紀日本社会の課題である。これを労働組合の立場から言えば、給与構造の見直し、退職手当制度の構造面の見直しが、さしあたりの課題であり、今期是非取り組んでいきたい。」

中執委員 吉川正人

農工大に勤務して7年目、初めて組合役員となりました。組合活動に関してはまったく無知ですが、前任の方々の精力的な活動の成果を無駄にしないよう、勉強していきたいと思います。

1月の活動報告

- 1/12 書記契約更新
- 1/12 第1回中央執行委員会
- 1/17 第1回給与対策ワーキング委員会
- 1/19 第2回給与対策ワーキング委員会
- 1/24 第3回給与対策ワーキング委員会
- 1/26 第2回中央執行委員会
- 1/27 人事チームとの話し合い

編集後記

昨年12月下旬に新旧役員交代を行い、年が明けて1月になり給与構造改革についての取り組みに追われ、あっという間に2月になってしまいました。この間、新中央執行委員長はじめ委員の皆様、旧執行委員の方や給与対策WGの委員の方のご尽力により、職場集会の討議資料を完成することができました。これをもとに各職場で活発な議論がなされ、たくさんのご意見を頂けますことを願っております。今年は春闘が前倒しできているような感じですが、3月の学長交渉に向けて、委員の皆様とともにがんばっていきますので、ご協力お願いします(大川)。

発行 2006年2月10日
東京農工大学職員組合中央執行委員会